



衛生だより



家さん農場7例目 宮城県の肉用鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザ発生！

【所在地】宮城県石巻市 【飼養状況】肉用鶏(約12.4万羽)

【疫学関連農場】宮城県石巻市(1農場 約4.8万羽)

【経緯】

(1)11月9日(土)

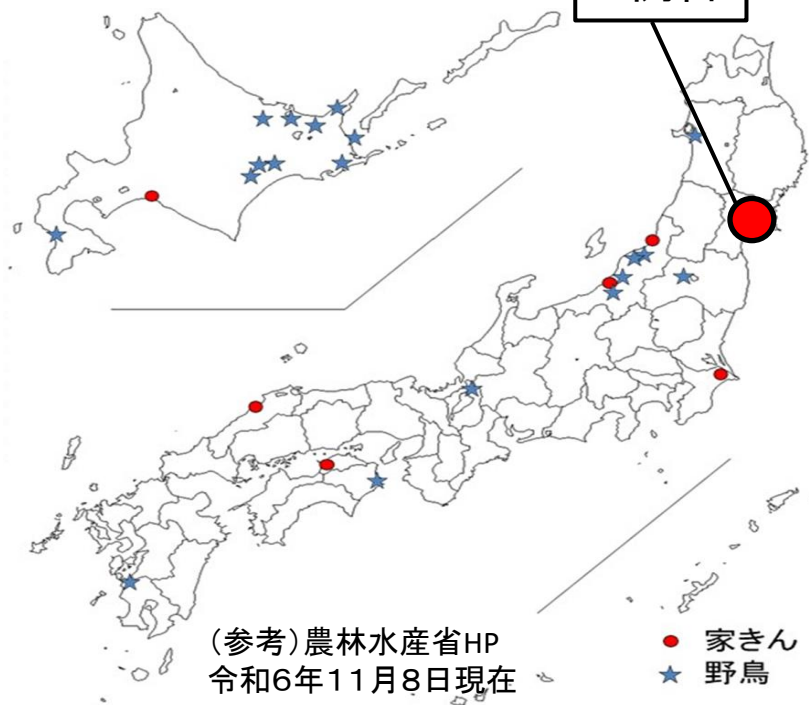
宮城県石巻市の農場から
死亡羽数増加の通報

(2)同日

鳥インフルエンザの簡易
検査陽性を確認

(3)11月10日(日)

遺伝子検査の結果、
高病原性鳥インフルエンザの
疑似患畜であることを確認



(参考)農林水産省HP
令和6年11月8日現在

衛生管理・防疫対策を徹底し、農場を鳥インフルエンザから守りましょう！！

- ❑ 衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
- ❑ 衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- ❑ 衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等
- ❑ 家さん舎に立ち入る者の手指消毒等
- ❑ 家さん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- ❑ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- ❑ ねずみ及び害虫の駆除

鶏の様子がおかしいと思ったら… 北部家畜保健衛生所へ

Tel.0478-54-1291 (夜間・休日は転送) 必ず5回以上コールしてください

高病原性鳥インフルエンザに最大限の警戒を 今シーズンは過去最多のペースで発生中



【現状】

今シーズンは、過去最多の発生となった令和4年シーズンに匹敵するペースで高病原性鳥インフルエンザが発生しています。周辺において死亡野鳥等から本病ウイルスが検出されていない地域でも発生が確認されるなど、既に全国どこで発生してもおかしくない状況となっており、最大限の警戒が必要となっています。渡り鳥の飛来が本格化し、今後さらに環境中のウイルス濃度が高まり本病の発生リスクがさらに増大すると考えられることから、下記に留意をお願いします。

1. まん延防止のための早期通報

地域におけるまん延を防ぐために、本病が疑われる事例については、早期に家畜保健衛生所へ通報すること。

2. 過去に発生が確認された地域は特に注意を！

過去に発生が確認された農場での発生が複数報告されています。近年に発生が確認された地域については、本病の発生リスクを高める環境要因が揃っているものと考え、防疫対策を講じること。

これまでの発生から、
以下の対策がウイルス侵入予防に効果的という知見があります。

(1) 飼養衛生管理区域に出入りする人、車両等の防疫対策の徹底

- 専用衣服及び長靴の設置及び着用を徹底するとともに、交換に当たって交差汚染が生じない動線を確保すること。
- 家きん舎ごとの専用長靴の設置及び使用、手指消毒等について適切に実施すること。
- ウイルス侵入防止対策については、全ての従業員だけでなく、飼料等の生産資材の運搬事業者、家きんの導入・出荷等作業、工事関係者等農場に出入りする事業者も徹底すること。

(2) 野鳥、野生動物等の侵入防止対策

- 家きん舎の点検により破損、隙間等を見つけた場合は速やかに修繕するとともに、除糞ベルトや集卵ベルト等の開口部にカバーやシャッターを設置する等、野生動物等の侵入防止を図ること。
- 堆肥舎への防鳥ネットの設置、餌こぼれの片付け、家きん死体や廃棄卵の適切な処理により野生動物等の誘引を防止すること。
- 家きん舎周辺の整理整頓、草刈り等により、野生動物等の隠れやすい場所をつくらないこと。

(3) 農場の周辺環境におけるウイルスリスクの低減

- 農場内や農場周辺のため池等の水場の水抜き、防鳥ネットや忌避テープの設置により野鳥を近づけない対策を講じること。
- 農場周辺にカラス等の野鳥を誘引する施設やねぐら等の生息に適した環境がある場合は、枝払い等により解消を図ること。
- 農場周辺において野鳥等への安易な餌やりやそれに類する行為は中止すること。